

令和元年度第1回  
さいたま市地域包括支援センター  
運営協議会資料

当日資料

令和元年7月11日（木）

－ 目 次 －

当日資料

令和元年度第1回さいたま市区地域包括支援センター  
連絡会について（緑区） ..... 1

令和元年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

開催日時	令和元年 6月13日(木) 14:00~15:50	
開催場所	緑区役所 3F大会議室	
出席者 (敬称略)	委員(全13名):出席13名	
	浦和医師会	関山 達也 <副委員長>
	浦和歯科医師会	荒川 匠 <委員長>
	さいたま市老人福祉施設協議会 白寿園	高岡 美由紀
	さいたま市介護支援専門員協会	野崎 直良
	認知症の人と家族の会	駒橋 明子
	緑区民生委員・児童委員協議会	鳥海 修一
	緑区自治会連合会	星野 孝男
	美園地区社会福祉協議会	守谷 一男
	介護保険被保険者	関 真知子
	介護保険被保険者	平澤 君子
	さいたま市社会福祉事業団 グリーンヒルうらわ	志満 誠治
	さいたま市社会福祉協議会 緑区事務所	田中 克幸
大古里公民館	島村 光一	
事務局	<p>16名</p> <p>健康福祉部 部長 高島 宏          高齢介護課 課長 高木 美和          課長補佐兼介護保険係長 草間 大輔          高齢福祉係 係長 高橋 剛          介護保険係 主査 栗原 崇司、保健師 川島 知子</p> <p>緑区北部圏域地域包括支援センター リバティハウス          管理者 吉川 恵美子          包括職員 詫間 茜、山口 宏樹、前澤 孝太          支え合い推進員 岩間 祐子</p> <p>緑区南部圏域地域包括支援センター 浦和しぶや苑          管理者 大熊 美恵子          包括職員 黒岩 聖、島田 なつみ          支え合い推進員 宮北 ゆみ子</p> <p>さいたま市社会福祉協議会 在宅サービス課 包括・在支総合支援センター          主査 服部 史絵</p>	

令和元年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

<p>次第</p>	<p>1 報告            (1) 平成30年度緑区地域包括支援センターの活動状況、及び令和元年度の事業計画について            ・北部圏域 リバティハウス            ・南部圏域 浦和しぶや苑            (2) 地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）の活動について            (3) 平成30年度一般介護予防教室の活動状況について            2 議事            前回会議での課題及び対応等について            ・平成30年度第2回地域包括支援センター運営協議会への提案結果            ・前回会議後からの取り組み・今後の方向性</p>
<p>要旨</p>	<p>1 (1) 平成30年度緑区地域包括支援センターの活動状況、及び令和元年度の事業計画について            -----            各地域包括支援センターから、平成30年度の活動状況及び令和元年度の目標について、概要を説明。            (活動状況)            ・医療機関との連携を図るため、病院カンファレンスへの参加、退院に向けての調整・支援を行う。特にさいたま市立病院との関係を深めるため両包括が合同で看護師向け研修会やケアマネとの交流会を開催            ・認知症の人と家族への支援としてオレンジカフェ、介護者サロンを開催            ・百歳体操自主グループの立ち上げ支援            (事業計画)            ・医療機関との連携（迅速に対応できる相談体制）            ・自治会連合会、民生委員協議会および地区社協との連携            ・通いの場が地域により偏りがあるため、不足している地域の支援を行う            ◎意見等 ・介護予防ケアマネジメントの事業評価が低いことへの指摘            ・介護認定率の推移の確認</p> <p>1 (2) 地域支え合い推進員（高齢者生活支援コーディネーター）の活動について            -----            (いきいき百歳体操自主グループ交流会について)            平成31年3月6日(水)に美園コミュニティーセンターで開催した『緑区みんなイキイキ「いきいき百歳体操」自主グループ交流会』の様子について、映像を交え報告及び説明            (自主グループ活動の支援から見えてきた効果及び課題について)            [効果]歩くのが早くなった、階段の上り下りが楽になった、顔見知りが増えた、毎回行くのが楽しみになった、体操後のおしゃべりが楽しい等            [課題]男性の参加者を増やすにはどうしたらいいか、参加しない人へのアプローチはどうしたらいいか、スタッフの引き継ぎはどうしていけばいいか、保険はどうしたらいいか、補助金の活用等            ◎意見等 なし</p>

令和元年度 第1回 緑区地域包括支援センター連絡会  
報告書

	<p>1 (3) 平成30年度一般介護予防教室の活動状況について</p> <hr/> <p>高齢介護課(緑)から概要を説明。 ＜説明のポイント＞ 「すこやか運動教室」の参加者数は、運動支援員の派遣依頼が減った影響から減少してしまった。</p> <p>◎意見等 参加者減少の理由確認及び運動の継続の大切さ</p>
	<p>2 議事</p> <hr/> <p>(前回会議での課題及び対応等について)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度第2回地域包括支援センター運営協議会への提案結果</li><li>・前回会議後からの取り組み・今後の方向性</li></ul> <p>＜具体的な内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・男性の参加者を増やすため、男性の割合が高い自治会にアプローチをしていく。モデルとなる単一自治会を選び検証していく。</li><li>・シルバーユニバーシティや公民館の講座等で運営ボランティアについて説明できる機会を設けていく</li><li>・介護者サロンについて区職員も同席する。館内放送で開催をアナウンスする</li></ul> <p>◎意見等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自治会としても防災の中に高齢者対策を入れていきたいと考えているので関係機関と連携を図っていきたい</li><li>・事務局案で了承</li></ul> <p>＜その他各委員からの意見(要約)＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ますます元気教室の公民館参加者数が減ってきている。行政だけの発想では参加者を増やすアイデアも限界(見えない)があるため、参加者からメニュー案を出してもらってはどうか。</li><li>・当該会議で色々提案しても、本庁(いきいき長寿推進課)が方針を決定している、一括発注しているからなどの理由があり、採用されないことがほとんど。また、検討に時間がかかっており、かなりのタイムロスがある。どうにかならないか。</li><li>・高齢者問題はどうしても福祉や医療というところからスタートしてしまう。教室やグループ活動を考えるにあたっては、娯楽性という語弊があるかもしれないが別の観点からも発想していくといいのではないかと</li></ul>